

美しい地球を美しいまま、未来に託すために

ワタミ株式会社 環境管理総括責任者 小出 浩平



ワタミグループでは、環境宣言「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」を実現するため、環境（エコロジー）と経済（エコノミー）の両立（W-ECO）を目指し、環境活動を実践しています。

2009年度は、外食店舗でのLED照明の導入、日本酒ビンリユースのスタート、カーボンオフセットカクテルのブランドメニュー化などを実施しました。さらに活動を強化するため、新方針「W-ECOビジョン2020」を制定しています。

事業の環境負荷（CO₂、廃棄物、輸送など）を削減し、ワタミファームやワタミエコロジーなどの環境貢献事業を強化しながら、社員一人ひとりの生活の環境負荷も削減するという内容です。

2010年度は、この「W-ECOビジョン2020」のスタートとして重要な位置づけにあるため、各社の環境推進体制を新たに構築し、取り組みを強化します。

今年の5月31日には、過去の取り組みの評価と今後への期待から、環境省より「エコ・ファースト企業」に認定され、社会的責任と期待が増してきました。未来の子どもたちへ…2010年度も皆様がワクワクするような取り組みを進めてまいります。

テーマ	2009年					2010年以降	
	活動内容	目標	成果	評価	2010年	2012年 (エコ・ファースト)	2020年 (W-ECOビジョン)
エコ・ファーストテーマ1 事業活動での削減	グループCO ₂ 排出量削減 ISO14001	6%削減 全事業取得	2%削減 9月取得	×	5%削減 全事業取得	15%削減 継続	50%削減 継続
エコ・ファーストテーマ2 環境改善事業の強化	リサイクル率向上	30%	30%	○	36%	50%	2013年ゼロエミッション 400店舗
エコ・ファーストテーマ3 社員行動での削減	社員の生活によるCO ₂ 排出量削減	設定なし	—	—	5%	10%	30%
エコ・ファーストテーマ4 環境保全活動の応援	ワタミの森の活動拡大 ブラックイルミネーション キャンペーン	設定なし 参加	— 参加	— ○	モデル構築 参加	50ha 参加	200ha 参加

○達成、×未達成、一該当なし

ワタミグループのこれまでの主な環境活動

ワタミグループでは、1999年外食産業初のISO14001認証取得など、環境宣言に基づき、環境活動に取り組んでまいりました。

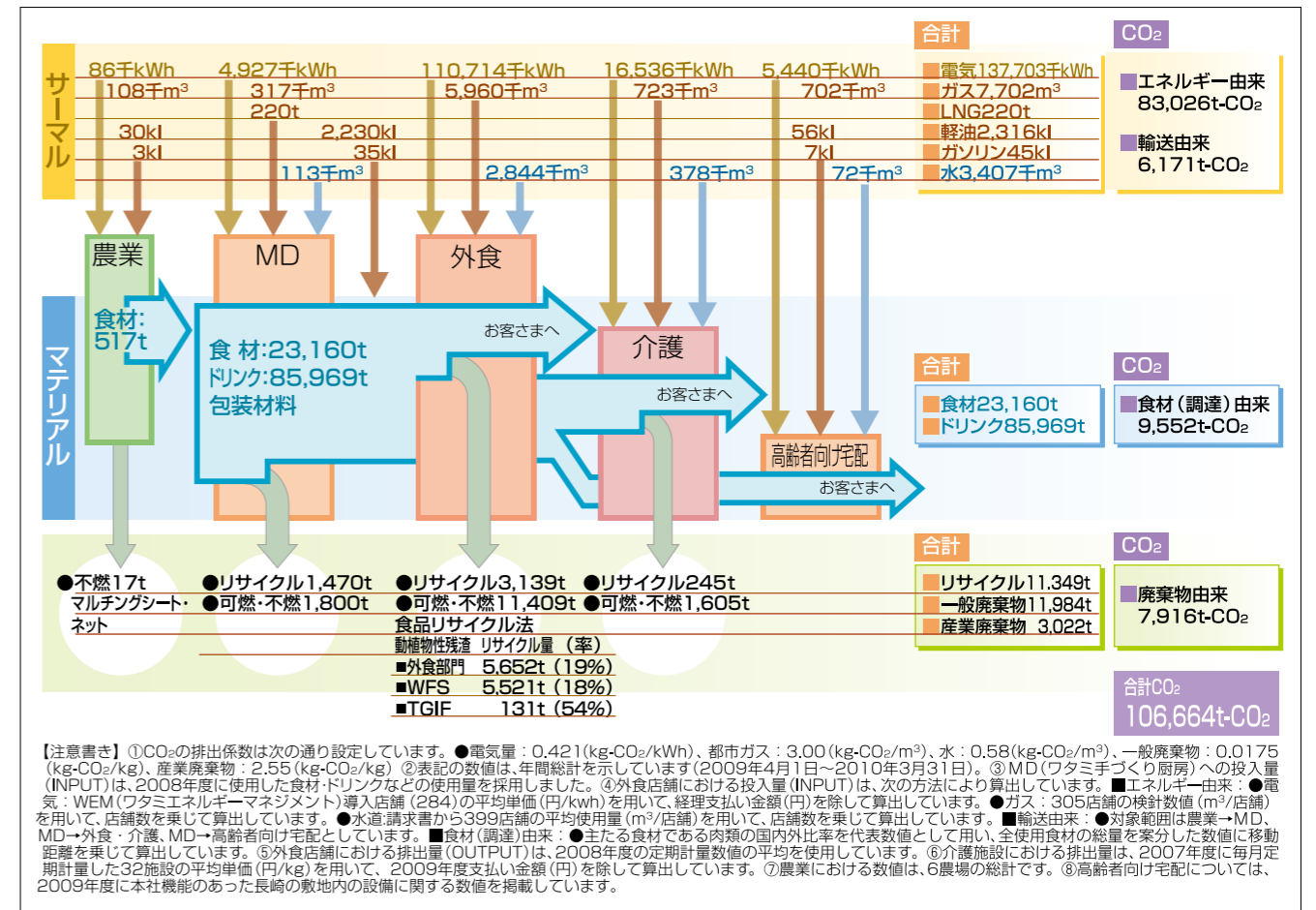
- 1999年 外食産業初ISO14001認証取得
- 2000年 「ワタミ環境宣言」
- 2002年 リサイクルセンター設立 首都圏リサイクル開始
- 2003年 首都圏200店舗に生ゴミ処理機導入
- 2004年 WEM(ワタミエネルギーマネジメント)システム導入
- 2006年 森づくり活動の開始
- 2008年 「環境宣言2008」掲出
- 2008年 「W-ECOビジョン2013」策定
- 2009年 LED照明導入店舗のOPEN
- 2009年 日本酒ビンリユースの開始(首都圏400店)
- 2009年 「W-ECOビジョン2020」策定
- 2010年 環境省「エコ・ファースト企業」認定
- 2010年 社員の環境負荷削減のための「エコカード」発行
- 2010年 環境省・農林水産省認定「リサイクルループ」をスタート



ワタミグループの環境負荷 (2020年度までにCO₂50%削減)

ワタミグループ全事業(外食、介護、高齢者向け宅配、MD、農業、環境・メンテナンス)の2009年度の環境負荷は下図の通りです。この環境負荷を2020年度までに50%削減、エコ・ファーストでは、ベンチマークとして2012年までに15%削減を約束しています。

■ワタミ マテリアル&サーマル・フロー



ワタミグループ各社の環境活動

ワタミグループでは、各事業ごとに様々な環境活動を実施しています。2010年度は、これらの活動のさらなる推進を行い、W-ECOビジョン2020、「エコ・ファーストの約束」の達成を目指していきます。

テーマ	活動内容	参照	WFS	TGIF	介護	MD	タクシヨク	ファーム	エコロジー
エコ・ファーストテーマ1 事業活動での削減	新規外食店舗・介護施設へのLED照明の導入	※1	○	○	○				
	エコ介護施設建設プロジェクトスタート	※2			○				
	モデル外食店舗・介護施設での削減プログラムスタート		○		○				
エコ・ファーストテーマ2 環境改善事業の強化	ロス率削減		○	○		○			
	日本酒リユースピンスタート	※3	○						○
エコ・ファーストテーマ3 社員行動での削減	本格的なリサイクルループスタート	※3	○						○
	エコキャップ活動		○	○	○	○	○	○	○
エコ・ファーストテーマ4 環境保全活動の応援	エコカード配布	※4	○	○	○	○	○	○	○
	本社ビルキャンピスイッチ導入		○	○	○	○	○	○	○
	ワタミの森の活動	※5	○	○	○	○	○	○	○
	ブラックイルミネーションキャンペーン参加	※6	○	○	○	○	○	○	○
	アースデイ2010参加						○		

○は(主な活動結果)【詳細 各社のページ参照】

(※1～6) 活動内容の詳細は「環境とともに 54・55ページ」をご覧ください。

お客様とともに

株主様とともに

お取引業者様とともに

従業員とともに

地域・社会とともに

環境とともに

環境とともに

エコ・ファーストテーマに関する活動内容の詳細

エコ・ファースト テーマ1 事業活動での削減

※1 新規店舗へのLED照明の導入(ワタミフードサービス)

外食店舗の照明は常時使用しているため、全使用量の約30%を占めています。そこで、2009年4月に試験的にLED照明を渋谷道玄坂店に導入し、効果を検証しました。その結果、全電力量の約30%削減が可能となったことから、2009年度には17店舗において導入しています。

2010年度は、約40店舗にLED照明導入を予定しています。また、既存外食店舗では白熱球、クリプトン電球、ハロゲン電球などの高消費型電球のLED照明への交換を順次進めていきます。



LED照明導入店舗「ゴハン」秋葉原店 LED照明導入店舗「TGIF」原宿

※2 エコ介護施設建設プロジェクトスタート

ワタミの介護では、ご入居者様にとって快適な室内環境を追求した介護施設建設を進めてきました。

2009年度からは、地球環境負荷を極力少なくしたエコ施設の計画・建設への検討をスタートしています。このエコ施設のコンセプトは、「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」ための「4R」です(下図)。これは、Refuse(地球環境に負荷を出すものを使用しない)、Reduce(負荷を減らす)を進め、その後にReuse(再利用)、最後にRecycle(再利用)ということの意味しています。

2010年度には、このエコ施設のコンセプトを具体化した介護施設の建設プロジェクトがスタートします。(下図)

■エコ介護施設の建設



エコ・ファースト テーマ2 環境改善事業の強化

※3 日本酒リユースピン・本格的なリサイクルループスタート

ワタミエコロジーを推進役として、2009年10月より、ビン廃棄量を抑制するため、日本酒の空ビンリユースに取り組んでいます。また、2010年6月からは、外食店舗から排出された生ゴミをリサイクルループにより堆肥化し、ワタミファームの土壌を潤し、有機野菜となって戻ってくる循環型社会の取り組みを本格的に稼働させています。(※)詳細の解説は「お客さまとともに 38ページ 環境・メンテナンス事業」をご覧ください。

エコ・ファースト テーマ3 社員行動での削減

※4 エコ夢カード配布

社員一人ひとりが生活をするうえで環境を意識していくことが、明日の地球を変えていくことにつながると考えています。社員の環境意識が生活にまで向上することによって、周囲の家族や友人にも良い影響をおよぼしていくと考えています。そこで、W-ECOビジョン2020では、具体的な目標として、社員の生活におけるCO₂排出量を2020年度までに30%削減することを設定しました。この目標を達成するため、2010年度から「エコ夢カード」を国内グループの全社員に配布し、日々の生活でのCO₂排出量(電気、ガス、ガソリン)を記録、一人ひとりが具体的に活動目標を設定できることを目指しています。



エコ・ファースト テーマ4 環境保全活動の応援

※5 ワタミの森の活動

森林は、水をはぐくむ命の源です。日本は、国土の約3分の2が森林という、世界にも類を見ない緑の国です。しかし国内の森林の約40%は、人が手を入れないと荒れてしまう人工林(杉やヒノキ)であり、この国産木材が使用されず(自給率約20%)、多くの森林が荒れ始めています。ワタミグループでは、

- 国内の森林再生
- 社員の環境教育
- 事業のCO₂排出量のオフセット



を目的として、千葉県山武市にあるワタミの森(面積9ha)を「千葉県山武市条例」を活用して無償でお借りし、管理させていただいています。

2006年、森林再生や環境教育の受け皿として、NPO法人「Return to Forest Life(リターン・トゥ・フォレストライフ、森の命を再生させよう!)」を設立し、社員のボランティアを中心に間伐や下草刈り、植樹を実施しています。2009年度、「木を使うことが森を守ることにつながる」の考えに基づき、活動を展開しています。

※6 ブラックイルミネーションキャンペーン参加

ワタミグループでは、2008年に環境省主催のブラックイルミネーションキャンペーンにはじめて参加して以来、毎年参加しています。

2010年6月、外食店舗・介護施設等の消灯という共通の取り組みの他、各事業において、独自の企画を実施させていただきました。

- 外食:外食店舗にて「カーボンオフセットカクテル」ご注文のお客さまにワタミの森の間伐材を活用したバイオマスプラスチック箸をプレゼント
- 介護:キャンペーン期間中に介護施設にご訪問いただいたご家族様や見学者の方へ、バイオマスプラスチック箸をプレゼント
- 高齢者向け宅配:ご希望のお客さまに抽選でバイオマスプラスチック箸をプレゼント

●バイオマスプラスチック箸製造:木を製材すると半分は端材となります。その端材を有効活用するため、45%ポリプロピレンを混合して、「Return to Forest Life」オリジナルのバイオマスプラスチック箸をつくりました。この箸は、社員のマイ箸運動促進のために誕生日カードに同封して配布する他、ブラックイルミネーションキャンペーンの際にお客さまに配布しました。



●植樹:人工的な森林は適正に間伐をしながら、次の世代のために適正に植樹をする必要があります。そこで、植樹の方法を学ぶため、ワタミの森の一部に植樹を実施しました。

